

0 地域別方針について

この章では、緑により分節化された市街地の広がりや日常生活上の交流範囲を考慮して、市域を11地域に分け、それぞれの地域ごとの整備方針を示しています。

地域別方針は、マスタープラン策定過程における市民参加を通じて出された意見を踏まえる中で、地域における課題と取り組みの方向性のアイデアを整理したものです。地域別方針と第Ⅱ章に示した「地区まちづくりモデル」を参考にして、各地区における具体的なまちづくり計画を協議・立案し、地区まちづくりの推進を図ることを目指しています。

なお、各地域別方針の下段には、物的なまちづくりとしてはとらえにくく、別の視点からの検討が必要と思われるものを《ソフト面の取り組み》として、また、将来の可能性を含めて、長期的な検討が必要と思われるものを《検討課題》として記載しています。

図 地区区分



地域の特性

1. 鎌倉東地域

- ・地域の大部分を山林が占めており、丘陵部の比較的小規模に開発された住宅地と谷戸の住宅地で構成されています。
- ・豊かな自然や歴史的遺産が点在していることから、週末には車で訪れる観光客で金沢鎌倉線を中心に慢性的な交通渋滞が発生しています。
- ・地域の大部分を風致地区に指定しており、その大部分が歴史的風土保存区域及び歴史的風土特別保存地区に指定しています。

2. 鎌倉中央地域

- ・三方を緑豊かな丘陵で囲まれた市街地に、鶴岡八幡宮をはじめとする数多くの歴史的遺産が点在しており、古都鎌倉のイメージを最も強く残している地域です。
- ・鎌倉駅周辺と若宮大路沿いに事業所・商業施設等が集積しています。

3. 鎌倉南地域

- ・三方を丘陵に囲まれ、南側は相模湾に面した市街地は、古くからの保養地、別荘地としてのたゞずまいを残しています。最近、海岸周辺ではマリッジを楽しむ人たちがでにぎわいを見せています。
- ・また長谷界限では、高德院、長谷寺をはじめとする神社仏閣や、大正から昭和にかけて居住した鎌倉文士に関する資料を集めた鎌倉文学館や鎌倉文士にまつわる碑が点在しています。また、江ノ電長谷駅周辺には観光みやげ店、飲食店が集積し、由比ガ浜通りには昔ながらの商店と比較的新しい店舗が軒を連ねています。

4. 七里ガ浜地域

- ・昭和30年代を中心に丘陵部に大規模な住宅団地が造成され、人口が急増しました。南側は相模湾に面し、周囲を丘陵が取り囲む市街地構成となっています。
- ・七里ヶ浜海岸は景勝地として知られ、マリッジを楽しむ若者でもにぎわっており、海岸に沿って走る国道134号沿線には商業施設が点在しています。

5. 腰越地域

- ・海岸沿いの低地部を中心に漁港の町として発展してきました。市街地は別荘地の面影を残す戸建て住宅地と昭和40年代を中心に開発された大規模な住宅団地に大きく分かれ、その周辺部にはまとまった緑地が残されています。地域は狭いものの、まちには多様性があります。
- ・また、藤沢市と隣接していることから地域性において強い結びつきを持っています。

6. 深沢市街地域

- ・柏尾川沿い及び県道藤沢鎌倉線沿いに工業施設が集積しています。また沿道には商業施設も点在しています。
- ・その周辺には計画的な住宅地があり、柏尾川と斜面緑地が市街地を囲んでいます。また、南部には市街化調整区域があり、農地が点在しています。

7. 深沢丘陵地域

- ・常盤山・台峯の緑地や古都保存法等によって守られている山並みに取り囲まれた市街地形成となっています。古くからある市街地と計画的に開発された住宅地に分けられます。
- ・藤沢鎌倉線沿いには商業施設が点在し、西側には深沢行政センターや小中学校が集積したゾーンとなっています。

8. 北鎌倉地域

- ・古都鎌倉の風情と佇まいを持っており、北鎌倉駅から鎌倉八幡宮に向かう鎌倉街道（県道雪ノ下大船線）の両側を緑地が取り囲み、その緑を背景に寺院と戸建て住宅が点在しています。東京方面から訪れる人々にとって、古都鎌倉の玄関口と言える地域です。
- ・北鎌倉駅から大船方面に向かう鎌倉街道（県道雪ノ下大船線）沿いには、古くからの商店が点在しています。

9. 大船丘陵地域

- ・今泉及び今泉台地区の丘陵地を中心に、昭和 40 年代に大規模な開発により宅地化が図られた地域と、それ以前から平坦部に形成されていた市街地に大きく分けられます。
- ・丘陵地域の住宅街は、居住者の高齢化により、高齢者のみ（夫婦、単身）の世帯や空き家の増加が懸念されます。

10. 大船市街地域

- ・大船駅周辺では、通り沿いやルミネウイングなどにおいて商業集積が進み、日用品や食料品の買い物客でにぎわいを見せています。また、大船市街地周辺に立地する県立大船高校、栄光学園、清泉女学院、鎌倉女子大学など、学生の街としても様変わりしつつあります。
- ・東部には三菱電機などの企業及び鎌倉芸術館や文化・教育施設があり、南部には中小の工場が点在しているなど、商業、工業、文化・教育、住居等の多様な土地利用がされています。

11. 玉縄地域

- ・昭和 40 年代以降の比較的新しい住宅地が点在し、丘陵地の自然と調和した居住環境が形成されていますが、歴史的遺産や市街化区域内に残された緑地も多く、その一部については保全のための担保措置が取られています。
- ・南部の植木・岡本地区にある工業地域では、工場の撤退が相次ぎ、その跡地に高層共同住宅、戸建て住宅、大規模商業施設が建設され、土地利用の転換による、大船駅西口周辺の交通渋滞が懸念されます。
- ・北西部には、市街化調整区域の農地が広がっており、市内でも全く様相の異なった田園地帯となっています。
- ・この地域の外周道路網は比較的整備されており、藤沢、横浜、県央などの周辺都市とのアクセスも良く、また今後もさらに道路網の整備が進むことが予定されています。

1 鎌倉東地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 豊かな自然や歴史的環境を保全し、生活者が親しみ活用できるまち、いつまでも住み続けたいまちにしていく。
- 交通渋滞の解消や歩行者環境を整備し、高齢者など誰もが安全・快適に移動できるまちにしていく。
- 風水害や地震に対する防災・減災対策を進め、市民が安心して暮らせるまちにしていく。

目標

目標①
自然環境・歴史的資源の保全・活用と、住みやすい住宅地の環境づくり

方針

①山林の緑や農地などの自然環境を保全・活用する

取り組み

- 県と連携した古都保存法による緑の保全
- 市民も観光客も楽しめるハイキングコースの充実
- 山林・農地の保全活用（市民農園化等）

②子どもや市民が遊び、親しむ場をつくる

- 山林・果樹園等の活用等（自然学習の場）
- 遊び場、公園広場等の確保（既存緑地、空地の活用）

③河川をいかし水辺に親しむ場をつくる

- 河川の自然回復と環境保全・親水化（河川の水質維持、自然護岸、親水化、緑道の整備等）

④地域の歴史・文化を知り、親しむ場や機会をつくる

- 歴史的・文化的遺産の保全と有効活用
- 永福寺跡の公園的整備
- 旧華頂宮邸の保全・活用（住民が中心となった管理体制の検討等）

⑤周囲の自然と調和した住宅地環境及び景観を維持・改善していく

- 住宅地環境の保全・形成（まちづくりルールの策定等）<丘陵、市街地、谷戸、主要道路沿道の住宅地>
- 良好な住宅地景観の保全・形成（既存樹の保存と駐車場周辺の緑化推進等）
- 良好な住環境の形成による空き家の解消

目標②
自動車利用の抑制と、誰もが移動しやすい交通システム、歩行者を中心とした環境づくり

①古都の環境と生活を守るため自動車利用を抑制し、歩道を確保する

- 交通需要マネジメント施策の推進
- 金沢鎌倉線（地域間を結ぶ主要道路）の整備・改善（歩道確保等）
- 浄明寺大町線の廃止

②住宅地の道路は生活道路として、安全に歩ける道づくりを進める

- 生活道路の環境改善（大塔宮～瑞泉寺の歩行者優先道路化等）
- 地域の高齢化に対応した道路環境のバリアフリー化

③バスサービスを充実するなど、誰もが移動しやすい公共交通システムを整える

- ミニバスでも運行が難しい交通不便地域への小型車両（乗合タクシー）等を活用した公共交通機関の検討やバスサービスの充実（デマンドバス等）

④歩行者、自転車利用のための緑道としての整備を推進する

- 滑川南側の道の快適な生活道路化

目標③
地域の環境に配慮した防災・減災対策の推進、公共施設の充実

①地域の環境に配慮した防災・減災対策を進める

- 地域の防災拠点の整備（ミニ防災拠点、広域避難場所、既存空地の活用等）
- 避難路の確保
- 土砂崩落の危険性がある斜面地の防災対策の実施

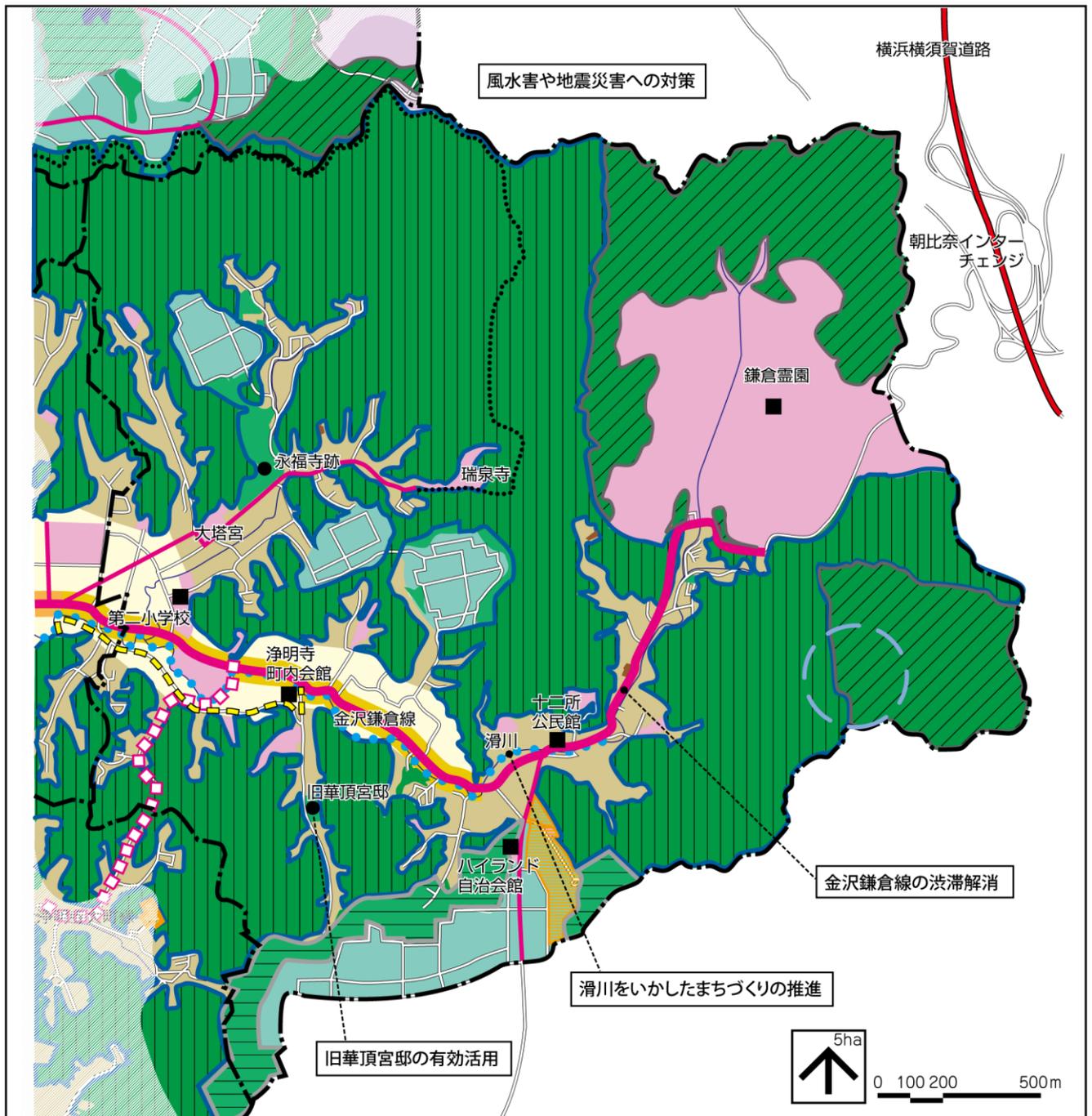
②公共施設やシステムの充実した、住みやすいまちづくりを進める

- 町内会館の充実（防災やコミュニティ拠点の機能強化）
- 公共施設・広場等の整備（地域住民サービスへの工夫）
- 公共トイレの充実

ソフト面の取り組み

- ・災害時の避難・救援システム、コミュニティ（自主防災組織）づくり
- ・カバ崩れの実態の把握、情報提供
- ・案内システムの整備（平常時には観光案内、災害時には避難情報を提供）

図 地域別方針……鎌倉東地域



- | | | | | | |
|--|-------------|--|----------------|--|-----------|
| | 古都保存法の緑 | | 旧鎌倉低・中層住宅地 | | 浄明寺大町線の廃止 |
| | 古都保存法以外の法の緑 | | 谷戸の住宅地 | | 金沢鎌倉線 |
| | 緑地 | | 沿道住宅地 | | 生活道路 |
| | 自然的公園としての緑 | | 丘陵住宅地 | | 滑川南側の生活道路 |
| | 都市公園等の緑 | | 公共公益施設等 | | ハイキングコース |
| | 生産緑地地区 | | 地区計画 | | |
| | 山林・果樹園等 | | 歴史的・文化的資源 | | |
| | 河川(滑川) | | 地域の防災やコミュニティ拠点 | | |

2 鎌倉中央地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 豊かな緑と一体となった古都の歴史的環境を大切にし、まち並みにさらに磨きをかける。
- 市の中心地域として、市民にも、訪れる人々にも快適なまちづくりを進める。
- 限りあるまちの空間を有効に活かし、魅力的にするため、ハード面の整備とともにソフト面を重視する。

目標

目標①
中心部の景観の保全・創造と、魅力ある商業地環境の整備

目標②
自然や歴史的環境の保全・活用と鎌倉らしい住宅地環境の保全・形成

目標③
自動車利用を抑制し、徒歩と公共交通を主体とした交通システムへの改善

方針

① 鎌倉駅周辺や若宮大路は、古都の中心部にふさわしいまち並みとしていく

② 商業地域及びその周辺は、市民・観光客に快適で魅力ある空間としていく

① 山並みの緑や滑川などの自然環境を大切にし、緑や水にふれあう場をつくる

② 鎌倉を特徴づける歴史的・文化的資源を守り、いかしていく（歴史まちづくり法の活用等）

③ 自然や歴史的環境と調和した、鎌倉らしい良好な住宅地の環境を保全していく

① 古都の環境と市民の生活を守るため、自動車利用を抑制する交通需要マネジメント施策を検討・実施していく

② 渋滞軽減のため、道路の改善や必要な施設整備、ソフトの充実を進める

③ 誰もが歩きやすい道づくり、バスサービス等公共交通の充実を進める

④ 駅前広場や商業地周辺の交通問題・駐車場問題を改善していく

⑤ 道路や駐車場などは、周辺環境との調和に配慮し、既存の緑の活用や緑化を進める

取り組み

- 若宮大路沿道のまち並み形成・緑の充実
- 三の鳥居～北鎌倉駅方面沿道のまち並み形成
- 駅周辺商店街の個性をいかしたまち並み整備
- 市役所、御成小周辺公共空間の整備
- 駅前整備の推進
- 駅周辺商業地の環境整備（楽しめる広場や道の整備等）
- 住宅地と調和した商業施設環境形成
- 周辺の住環境と調和した商業地の形成
- 県と連携した古都保存法による緑の保全
- 自然的公園としての緑の保全・活用（源氏山公園）
- 斜面林の保全・回復（斜面保護工事への自然工法の採用、緑化等）
- 河川の自然回復と環境保全・親水化（滑川）
- 歴史的遺産の保全・活用（社寺・遺跡等）
- （仮称）歴史文化交流センターの整備
- 歴史と文化を訪ね歩くネットワークの整備
- 洋館・和風建築物等の保全・活用（旧安保小児科医院、鎌倉聖ミカエル教会等）
- 住宅地環境の保全・形成（まちづくりルールの策定等）<谷戸、市街地、主要道路沿道の住宅地>
- 路地空間の保全
- 地域防災拠点の整備、避難路確保等
- 交通需要マネジメント施策の推進
- 地域間を結ぶ主要道路の整備・改善（交差点改善、信号改善、歩道の整備・充実等）
- 由比が浜開谷線の変更（ルート・形式等）
- 自転車走りやすい道路網整備
- 歩行者ネットワークの整備（緑道、ベンチ等）
- 生活道路の環境改善（歩行者優先道路化等）
- 路地空間の保全・活用
- ハイキングコースの充実
- バスサービスの充実
- 駅西口・東口の駅前広場及び周辺の整備（交通ルートの整理、ミニバス発着所等）
- バリアフリー化の推進
- 中心商店街の駐車場のあり方の検討
- 交通ターミナルの整備や駐車場確保の検討
- 道路・駐車場等の緑化推進

ソフト面の取り組み

- ・案内システムの整備（平常時には観光案内、災害時には避難情報を提供）
- ・通年で安定した観光客の誘致や宿泊滞在型観光への転換を図る方策の検討
- ・地元の産品を使った商業（“地産地商”）の推進
- ・子どもが関与する観光施策の検討（子ども観光大使等）

検討課題

- ・観光拠点の整備（防災機能も備える）
- ・公共施設の高台移転
- ・市庁舎の今後のあり方
- ・横須賀線の地下化と地上部の東西連絡強化
- ・農協連即売所（通称「レンバイ」）の今後のあり方

図 地域別方針……鎌倉中央地域



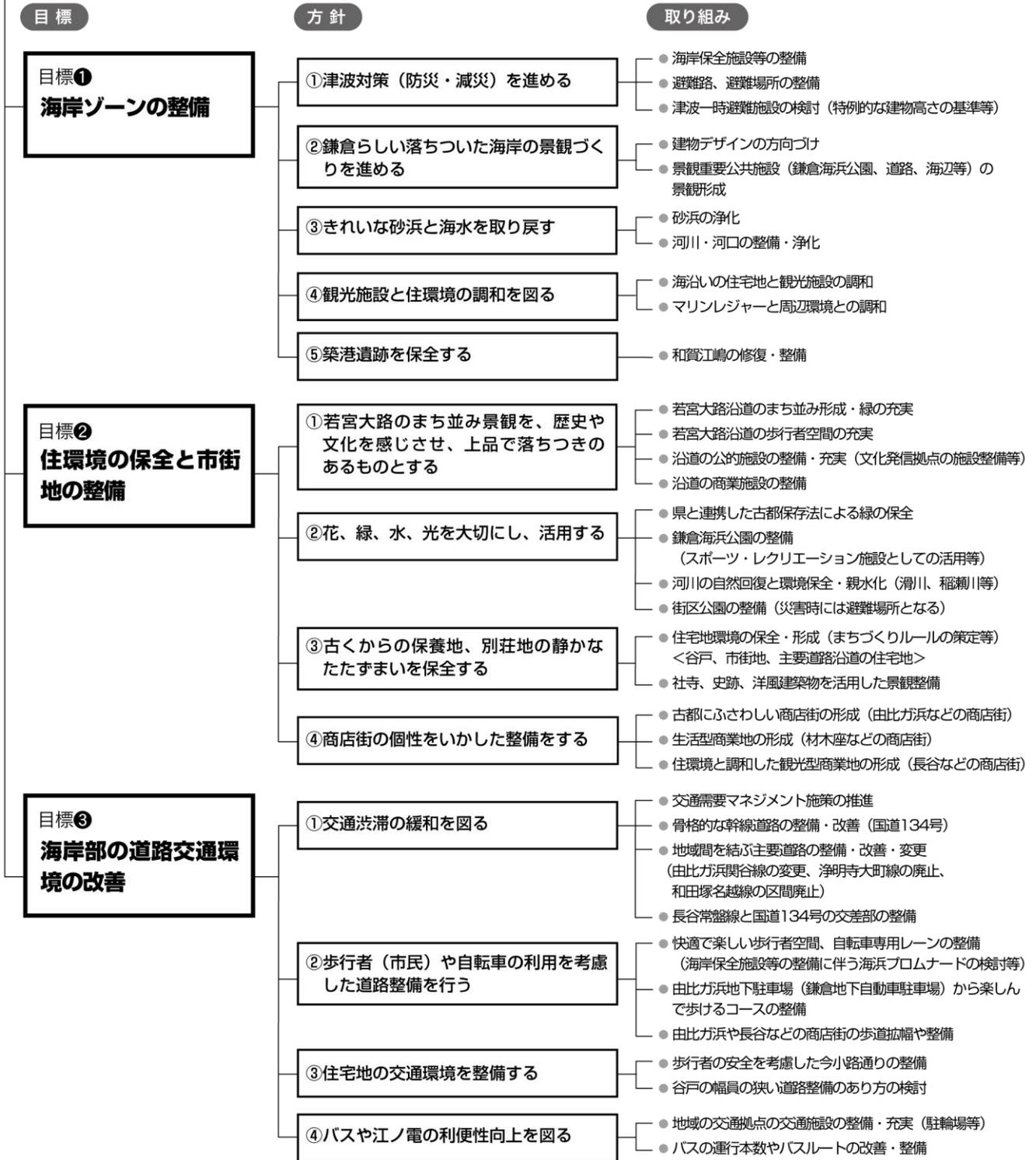
- | | | |
|------------|----------------|----------------------|
| 古都保存法の緑 | 旧鎌倉低・中層住宅地 | 由比ガ浜関谷線の変更（ルート・形式等） |
| 自然的公園としての緑 | 谷戸の住宅地 | 地域間を結ぶ主要道路 |
| 都市公園等の緑 | 沿道住宅地 | 生活道路 |
| 生産緑地地区 | 駅周辺商店街 | 若宮大路沿道のまち並み形成 |
| 河川（滑川） | 住商業複合地 | 三の鳥居～北鎌倉駅方面沿道のまち並み形成 |
| | 観光型住商業複合地 | ハイキングコース |
| | 公共公益施設等 | 駅周辺商業地 |
| | 新たな都市機能の導入 | 市役所、御成小学校周辺の公共空間 |
| | 洋館、和風建築物等 | （仮称）歴史文化交流センターの整備 |
| | その他歴史的遺産 | |
| | 地域の防災やコミュニティ拠点 | |

3 鎌倉南地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 防災・減災まちづくり（特に津波対策）を進め、それにあわせて水辺空間の新たな活用、まち並み形成を図る。
- 観光による住環境への影響をできるだけ低減し、静かな市街地を目指す。
- 古くからの良好な住宅地のイメージを継承する。



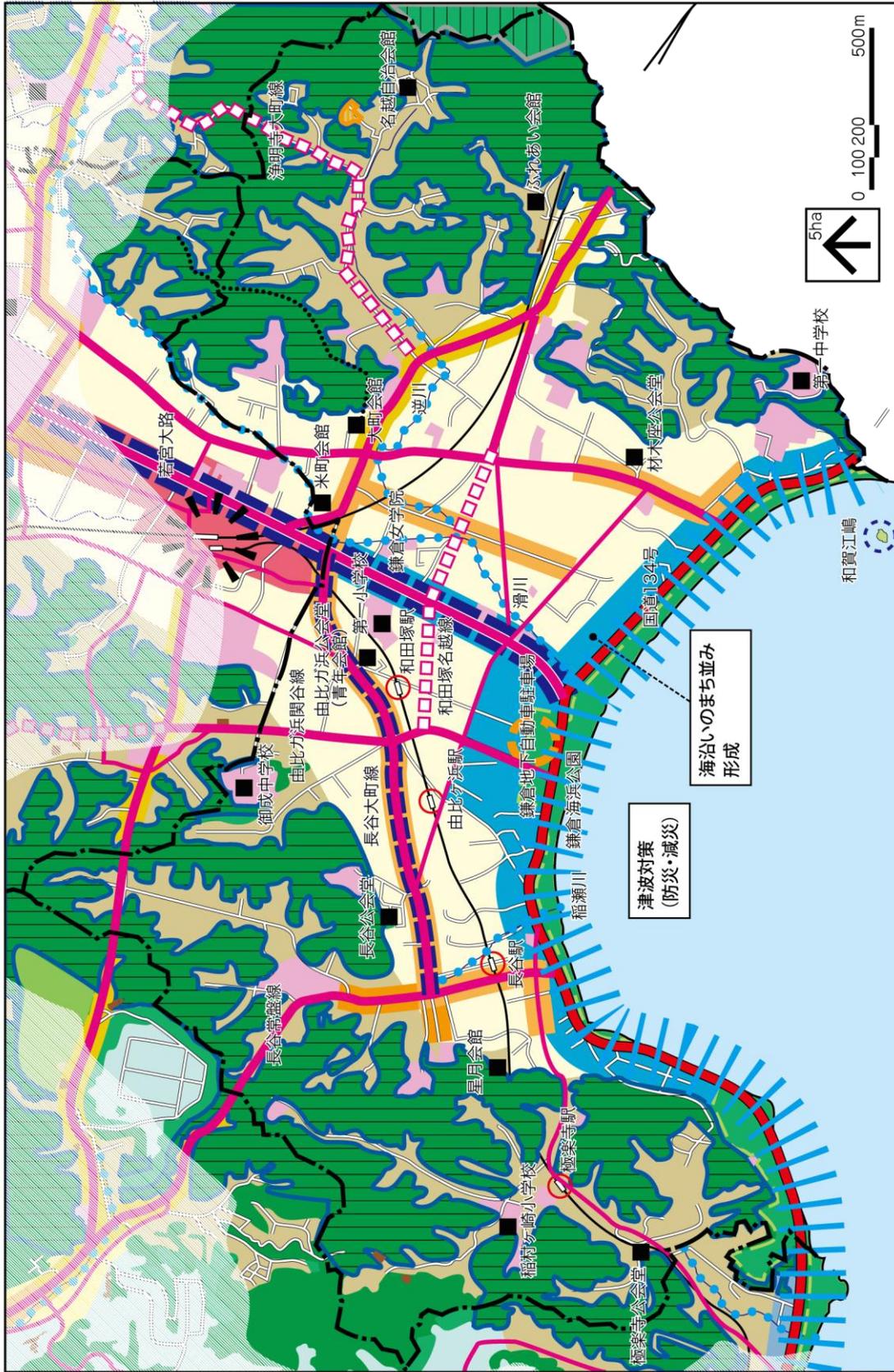
ソフト面の取り組み

- ・案内システムの整備（平常時には観光案内、災害時には避難情報を提供）
- ・避難計画の検討（避難路、災害時要援護者への対応、情報周知等）

検討課題

- ・津波防災地域まちづくり法等を活用した防災・減災対策
- ・公共施設の高台移転
- ・国道134号の機能強化の具体的な整備の方向
- ・漁業継続のための漁業施設の検討、漁港建設の検討

図 地域別方針……鎌倉南地域



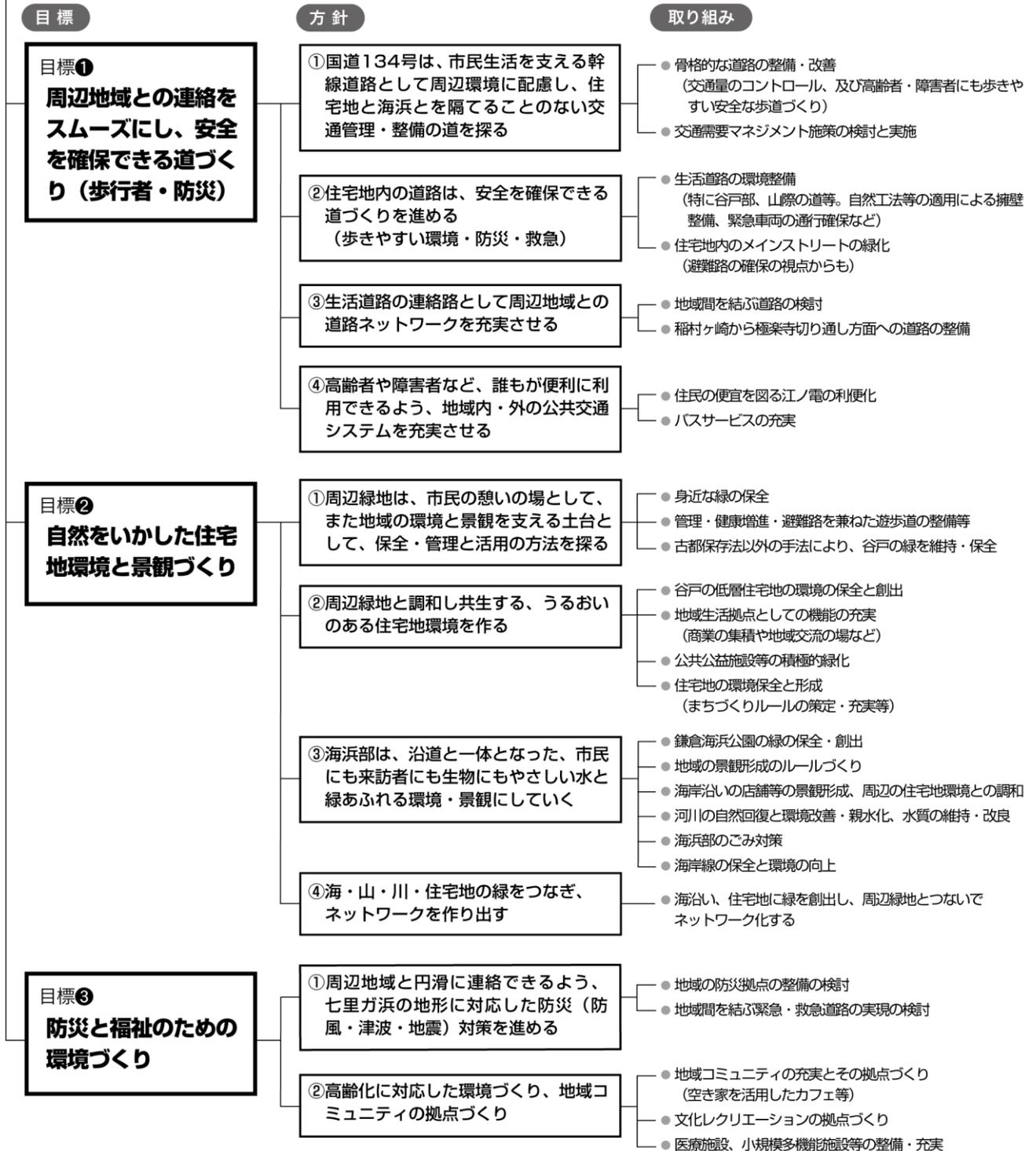
- | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|--|-----------------|--|----------------|--|-------------------|--|-----------------|--|------------------|--|-------------------------|
| | 古都保存法の緑 | | 生産緑地地区 | | 古戸の住宅地 | | 観光型住商業複合地 | | 商店街のまち並み形成 | | 生活道路 | | 浄明寺大井町線の廃止 和田塚名越線の廃止 |
| | 緑地 | | 河川 (滑川、稲瀬川等) | | 主要道路沿道の 住宅地 | | 公共施設等 | | 地域の防災やコミュニティ拠点 | | ハイキングコース | | 海岸線の津波対策 道路、海辺の美観向上 |
| | 都市公園等の緑 | | 和賀江崎 | | 海浜住商業複合地 | | 地区計画 | | 骨格的な道路 (国道134号) | | 地域交通拠点 | | |
| | 鎌倉海浜公園施設 | | 旧鎌倉 低・中層住宅地 | | 生活型商業地 | | 若宮大路沿道の まち並み形成 | | 地域間を結ぶ主要道路 | | パークアンドライド 駐車場 | | |

4 七里ガ浜地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 七里ガ浜の海浜と広町・鎌倉山・極楽寺の山々が一体となり、多様な生物と共生した豊かな環境とそこに調和したまち並みを作る。
- 周囲を山と海で囲まれた地形及び基盤状況を踏まえ、緊急時にも対応できる動線を確保する。
- 地域の高齢化進行への対応として、地域コミュニティの形成や地域資源を活用することなどにより、暮らしやすいまちを作る。



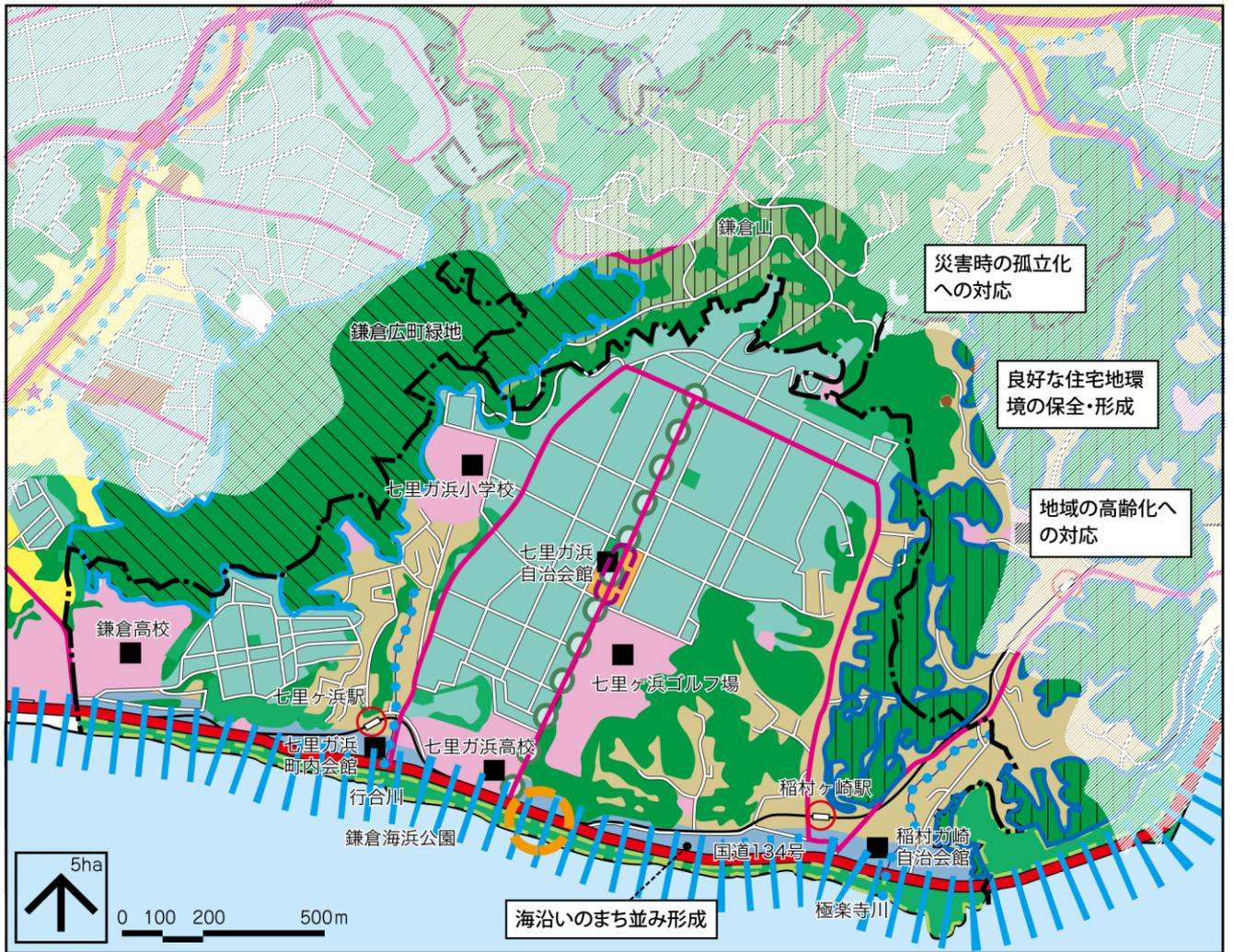
ソフト面の取り組み

- ・緑地（民有地）の新たな管理モデルの検討（住民参加の方法等）
- ・既存の公益施設等を基幹とした地域包括ケアシステムの構築

検討課題

- ・国道134号の機能強化の具体的な整備の方向
- ・極楽寺谷戸部を経て鎌倉方面へ至る緊急連絡路の整備
- ・救援物資等の海浜への直接輸送の検討（ヘリポート等の整備、津波浸水により国道134号が機能不全となる備え等）

図 地域別方針……七里ガ浜地域



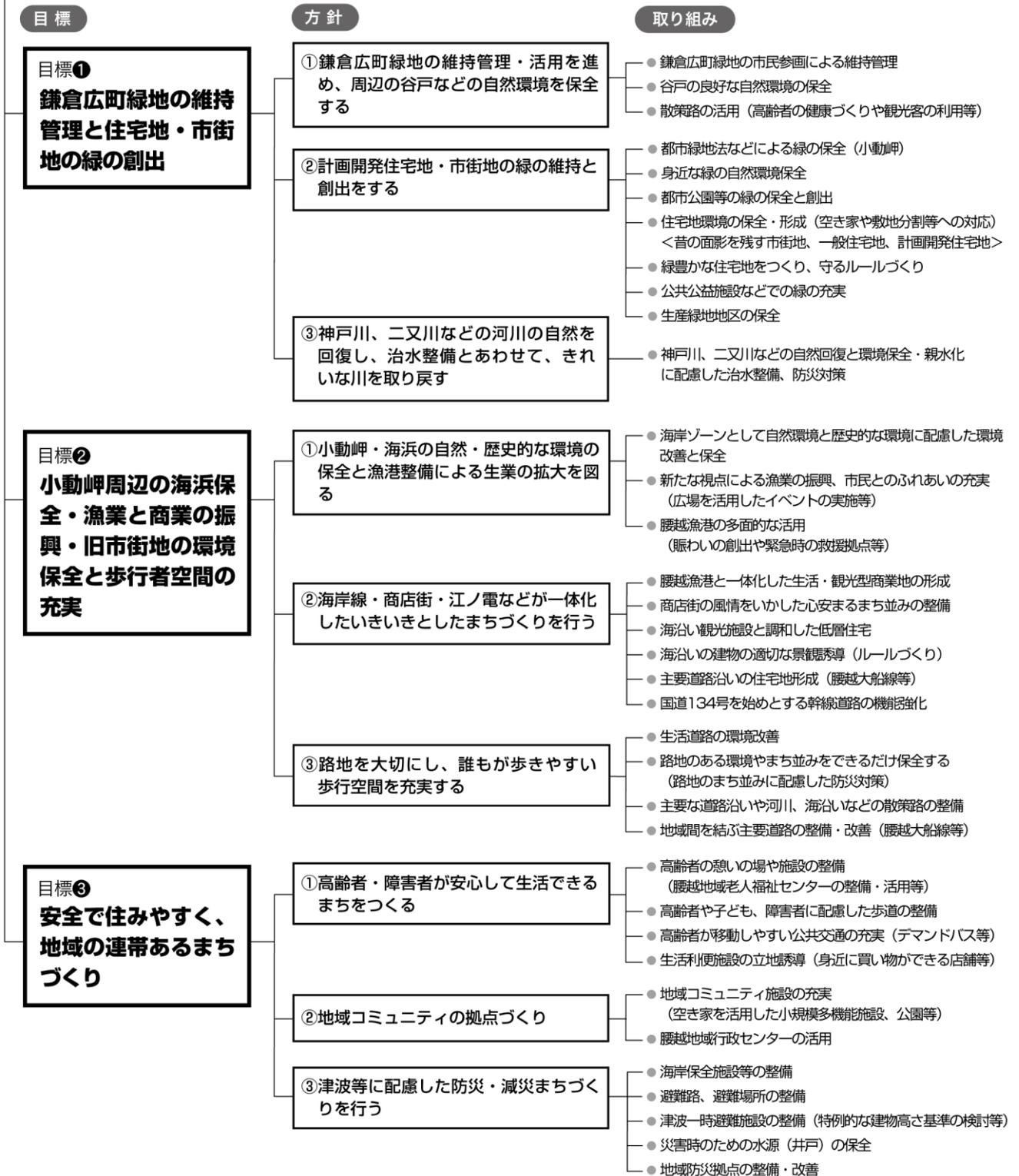
- | | | |
|----------|----------------|--------------------|
| 古都保存法の緑 | 谷戸の住宅地 | 骨格的な道路（国道134号） |
| 緑地 | 計画開発住宅地（丘陵住宅地） | 生活道路 |
| 都市公園等の緑 | 海浜住宅地 | 住宅地内のメインストリート |
| 鎌倉海浜公園施設 | 住商複合地 | 地域交通拠点 |
| 鎌倉広町緑地 | 公共公益施設等 | パークアンドライド駐車場 |
| 河川 | 地域生活拠点 | 海岸線の津波対策道路、海浜の美観向上 |
| | 地域の防災やコミュニティ拠点 | |

5 腰越地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 『海』、『山』、『川』の豊かな自然環境と共生するまちづくり。
- 誰もが安心して暮らし、地域住民が共に進める連帯のあるまちづくり（高齢化や災害リスクの高まり等に対応した地域の環境整備）。
- 多様な地域資源（腰越漁港、江ノ電沿いの商店街、史跡、鎌倉広町緑地、浜辺等）や立地特性（藤沢市に隣接等）をいかした地域の活性化。



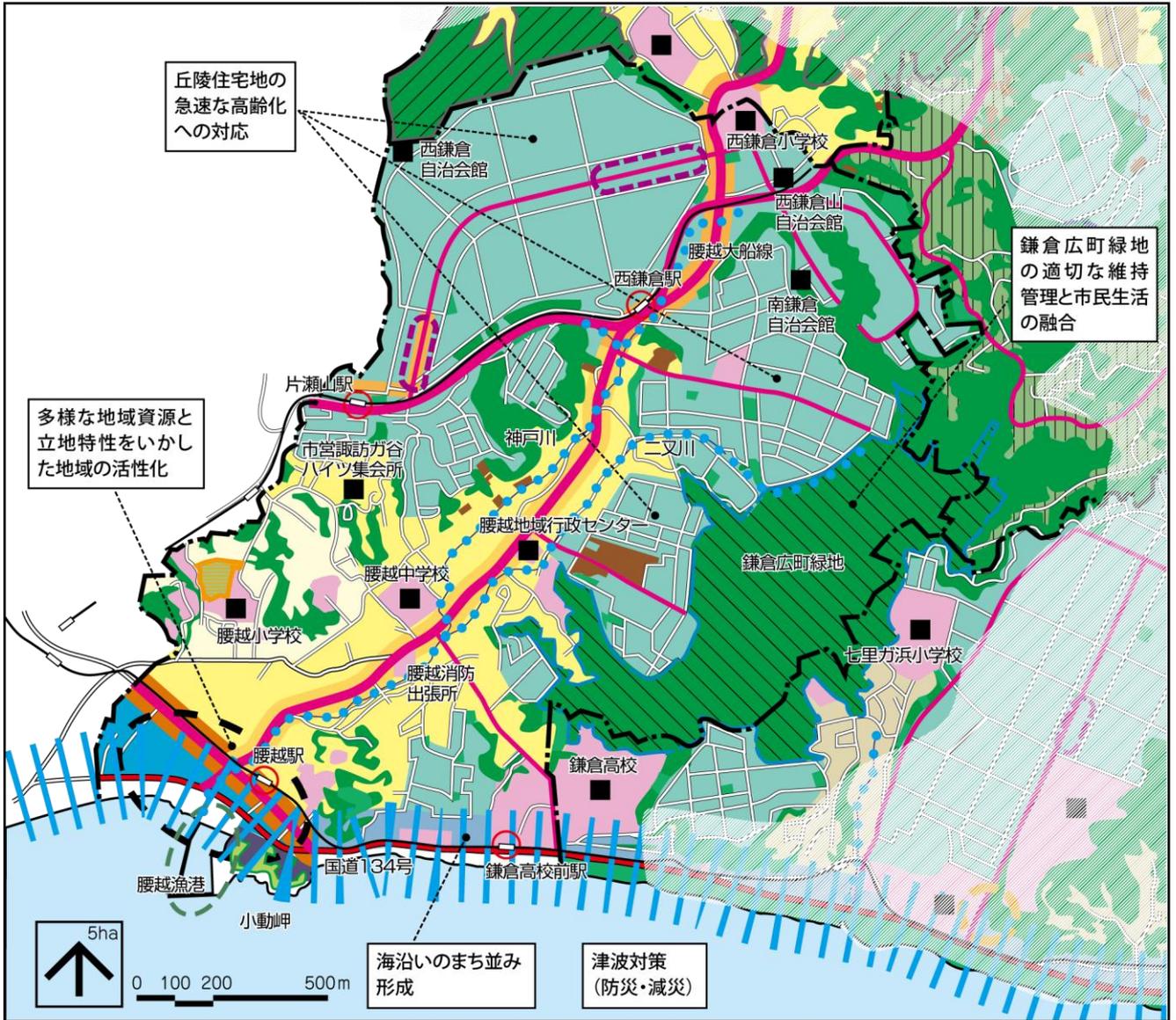
ソフト面の取り組み

- ・地域資源を活用した漁業・商業の振興（江ノ電と商店街との連携等）
- ・高齢化に対応した地域生活のシステムづくり
- ・周辺地域との連携（関谷の農地、深沢拠点、藤沢市、江ノ島、東海道本線新開等）

検討課題

- ・津波防災地域まちづくり法等を活用した防災・減災対策
- ・国道134号の機能強化の具体的な整備の方向
- ・海岸線の自然環境と歴史的風土保全のための長期的な調査、対策の検討

図 地域別方針……腰越地域



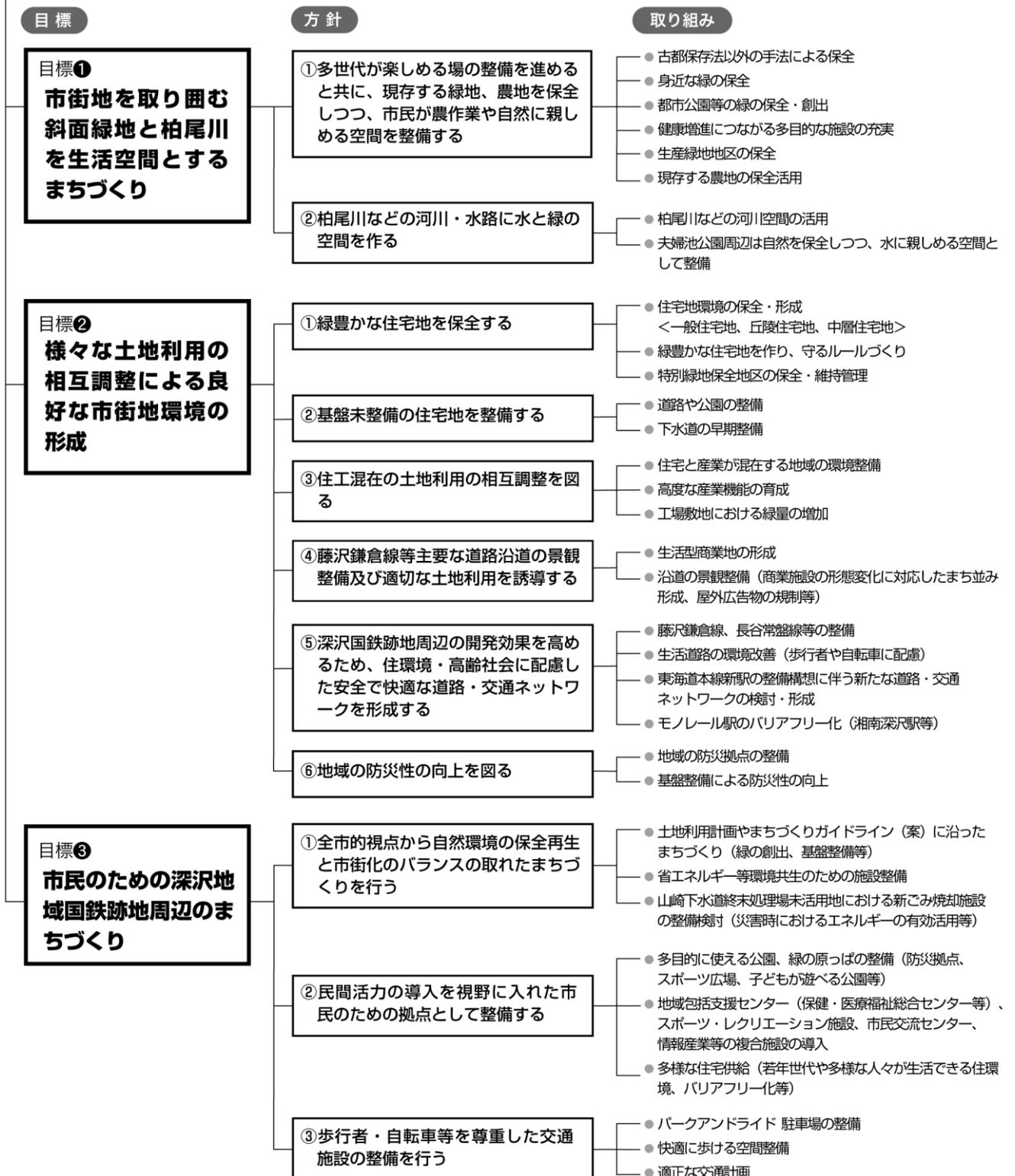
- | | | | |
|---------------|-----------------|---------------------|----------------------------|
| 鎌倉広町緑地 | 腰越寺社周辺住宅地 | 骨格的な道路 (国道134号) | 腰越漁港 |
| 小動岬の緑 | 一般住宅地 | 地域間を結ぶ主要道路 (腰越大船線等) | 腰越拠点の整備 (海辺、腰越漁港、腰越駅や商店街等) |
| 小動岬の自然と歴史的な環境 | 沿道住宅地 (腰越大船線等) | 生活道路 | 海岸線の津波対策 道路、海浜の美観向上 |
| 身近な緑 | 計画開発住宅地 (丘陵住宅地) | 地域交通拠点 | |
| 都市公園等の緑 | 海浜住宅地 | | |
| 河川 (神戸川、二又川) | 海浜住商複合地 | | |
| 生産緑地地区 | 住商複合地 | | |
| | 観光型住商複合地 | | |
| | 公共公益施設等 | | |
| | 地区計画 | | |
| | 地域生活拠点 | | |
| | 地域の防災やコミュニティ拠点 | | |

6 深沢市街地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 天神山・等覚寺山等の斜面緑地、市街地に残る農地等の緑や柏尾川等の河川など自然環境の保全・管理、新たな活用を図る。
- 住宅と工場、店舗など様々な都市機能が調和する住みやすい市街地を作る。
- 「大人と子どもが手をつないで歩けるまち」を念頭に置き、深沢地域国鉄跡地周辺の開発を地域のまちづくりにいかす。



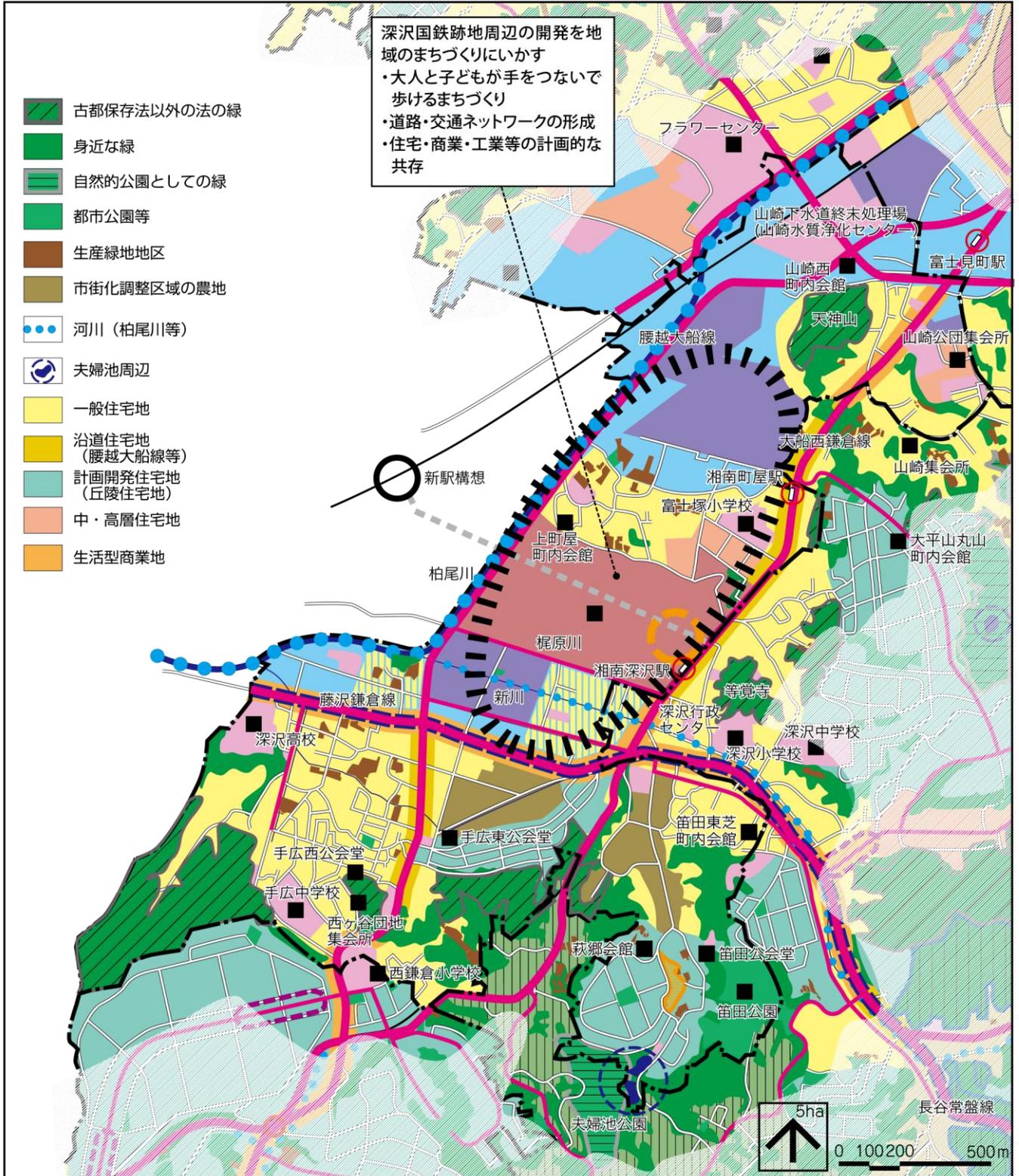
ソフト面の取り組み

・ブランド化された「鎌倉やさい」の販売促進、観光農園、流通等の新たな農業体制づくり

検討課題

・東海道本線新駅整備への対応
・市街化調整区域のあり方

図 地域別方針……深沢市街地域



深沢国鉄跡地周辺の開発を地域のまちづくりにいかす
 ・大人と子どもが手をつないで歩けるまちづくり
 ・道路・交通ネットワークの形成
 ・住宅・商業・工業等の計画的な共存

- 古都保存法以外の法の緑
- 身近な緑
- 自然的公園としての緑
- 都市公園等
- 生産緑地地区
- 市街化調整区域の農地
- 河川（柏尾川等）
- 夫婦池周辺
- 一般住宅地
- 沿道住宅地（腰越大船線等）
- 計画開発住宅地（丘陵住宅地）
- 中・高層住宅地
- 生活型商業地

- 産業地
- 産業複合地
- ※ 産業複合地における土地利用転換地等
- 公共公益施設等
- 新たな都市機能の導入
- 地区計画

- 地域の防災やコミュニティ拠点
- 地域間を結ぶ主要道路（藤沢鎌倉線、長谷常盤線等）
- 生活道路
- 新駅の整備構想等に伴う交通ネットワークの検討
- 藤沢鎌倉線沿道

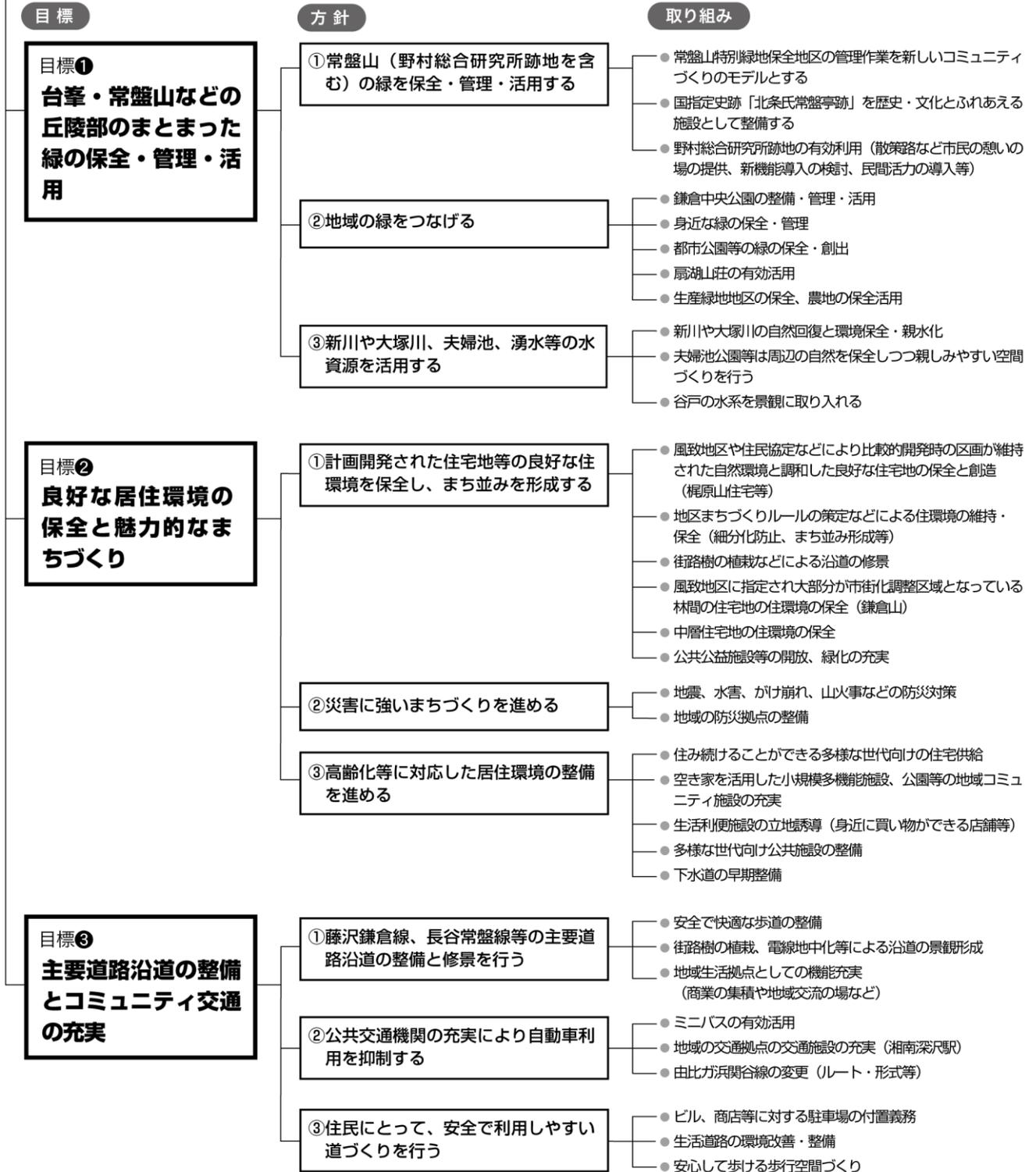
- 地域交通拠点
- パークアンドライド駐車場の整備
- 深沢地域国鉄跡地周辺拠点の整備

7 深沢丘陵地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 台峯や常盤山等の丘陵部の緑や新川、大塚川等の水資源を大切に、景観形成や地域コミュニティづくり等に活用する。
- 若い人から高齢者まで誰もが住みやすいまちづくり、豊かな自然環境をいかした良好なまち並み形成を進める。
- 地域資源を有効活用する（台峯・常盤山、野村総合研究所跡地、北条氏常盤亭跡、扇湖山荘等）。



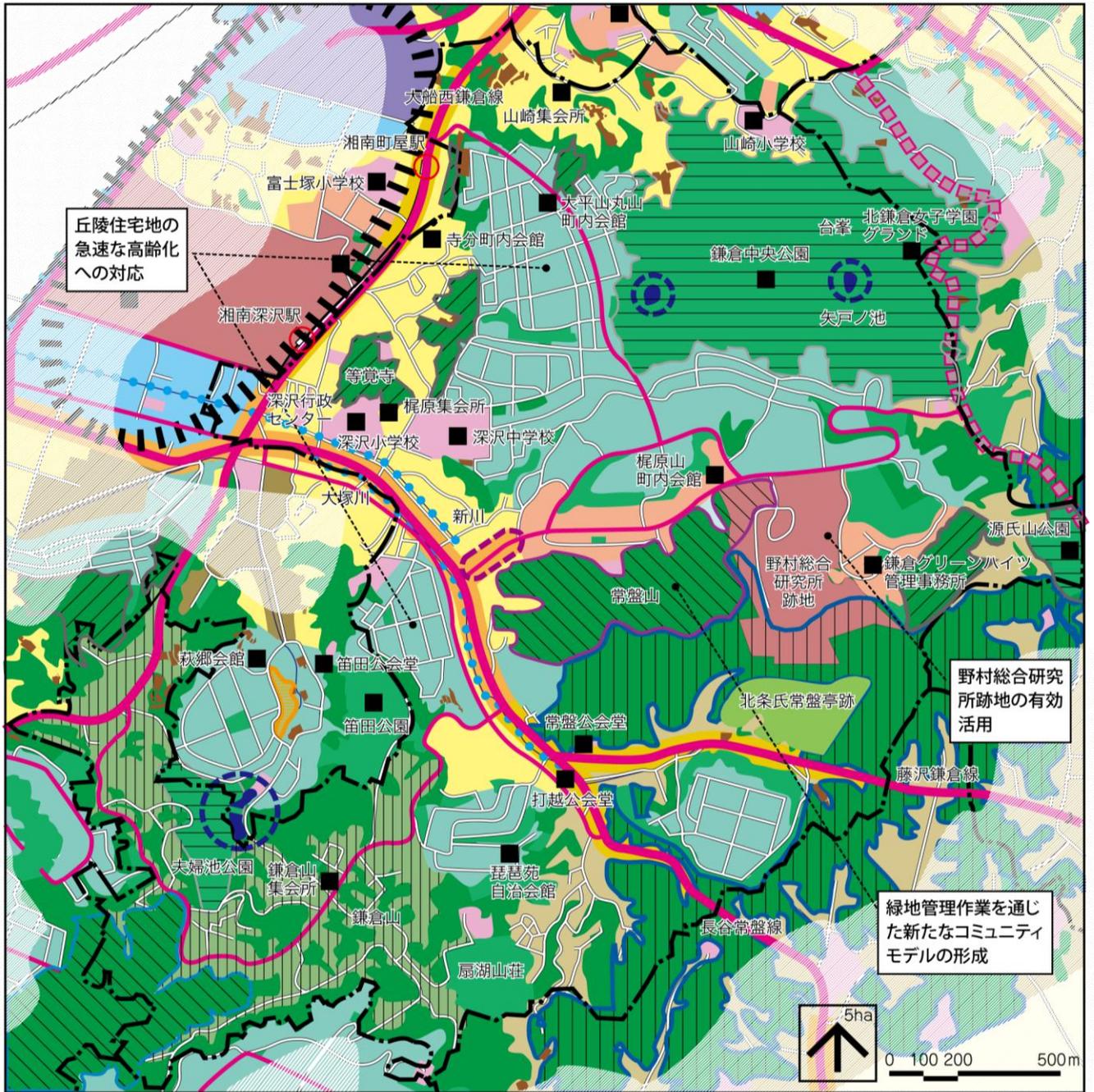
ソフト面の取り組み

・緑地（民有地）の新たな管理モデルの検討（住民参加の方法等）

検討課題

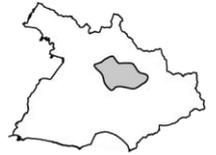
- ・野村総合研究所跡地の具体的な活用方策
- ・山林資源の活用方法の検討（樹林管理によって発生する剪定材の活用等）
- ・市街化調整区域のあり方

図 地域別方針……深沢丘陵地域



- | | | |
|-------------|-----------------|---------------------|
| 古都保存法の緑 | 谷戸の住宅地 | 地域の防災やコミュニティ拠点 |
| 古都保存法以外の法の緑 | 一般住宅地 | 由比ガ浜関谷線の変更(ルート・形式等) |
| 緑地 | 沿道住宅地 | 地域間を結ぶ主要道路 |
| 自然的公園の緑 | 計画的開発住宅地(丘陵住宅地) | 生活道路 |
| 都市公園等の緑 | 林間住宅地(鎌倉山) | 地域交通拠点 |
| 歴史公園としての整備 | 中・高層住宅地 | |
| 鎌倉広町緑地 | 生活型商業地 | |
| 常盤山 | 公共公益施設等 | |
| 生産緑地地区 | 新たな都市機能の導入 | |
| 河川(新川、大塚川等) | 地区計画 | |
| 池周辺(夫婦池等) | 地域生活拠点 | |

8 北鎌倉地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- まち並みに、古都らしさをいかし、住民が誇りの持てるまちを作る。
- 歴史的風土と緑に囲まれた地域として、後世に継承する責任を背負いつつ、生活の場として暮らしやすいまちを目指す。
- 国際観光都市鎌倉の入り口として、観光客と住民が共に生きるまち、安心して歩けるまちを目指す。

目標

目標①

古都としてのまち並みの保全・創造と、住みやすい環境づくり

方針

①鎌倉街道（雪ノ下大船線）は、歴史的・文化的遺産をいかしたまち並みと新しい顔を創造していくまち並みが調和し、連続性を持ったまちにしていく

②観光都市として、歴史的遺産の保全と質の高い情報提供等を進める

③住宅地の良好な環境を保全するとともに、安全で住みやすいまちにしていく

取り組み

- 北鎌倉駅から八幡宮側は、住環境と調和した観光型商業の形成
- 北鎌倉駅から大船側は、生活商業地の形成
- 歴史的都市にふさわしい沿道景観の形成（景観地区などの景観のルールづくり）
- 古都の環境に調和した駅舎及び駅前改善

- 歴史的遺産の保全・活用
- 北鎌倉の歴史的遺産の再認識・啓発と保全
- 観光案内（防災情報を含む）、サイン計画の充実
- 有料トイレ、拠点回収型のごみ集積所などの整備

- 良好な住環境の保全（まちづくりルールの制定等）
- 歴史・文化・自然的環境等と調和した住環境づくり
- 道路や下水道などの生活基盤施設の整備
- 地域の防災拠点の整備（観光案内施設を兼ねる）
- 狭あい道路における消防・防災対策
- 生活利便施設（買い物、子育て支援、高齢者支援等）の整備

目標②

台峯の緑や河川などの自然環境の保全と活用

①台峯をはじめ、周囲に残された山林の緑を保全していく

②河川環境の向上や多様な水資源の活用など、適正な水循環の維持向上を総合的に進める

③自然に親しむ場を作る

- 古都保存法による緑の保全
- 自然的な公園としての緑の保全・活用（鎌倉中央公園拡大大区域（台峯）、（仮称）山崎・台峯緑地、山ノ内西瓜ヶ谷緑地、（仮称）山ノ内東瓜ヶ谷緑地、（仮称）山ノ内宮下小路2号緑地）
- 小規模な樹林地や宅地の緑など身近な緑の保全・育成

- 明月川、西瓜川、小袋谷川などの河川の自然回復と環境保全・親水化（古都の風情に馴染む、生態系に配慮）
- 下水道整備の推進
- 雨水利用や特に災害時などの井戸水利用の推進
- 透水性舗装の推進

- 自然観察路などの整備
- 親水空間の確保
- ハイキングコースの充実

目標③

生活と観光を支える交通環境づくり

①古都の環境と市民生活を守るため自動車利用を抑制する交通需要マネジメント施策を検討・実施すると共に、周辺環境との調和に配慮して、道路の改善や必要な施設整備を進める

②高齢者や障害者など誰もが便利に安心して移動できる交通環境を整備する

③瓜ヶ谷、明月院道路は、生活道路として、安全で緑豊かな道づくりを進める

④住宅地内の道路を、誰もが安全で気持ち良く歩けるようにしていく

- 鎌倉街道（雪ノ下大船線）の交通需要マネジメント施策の検討・実施
- 由比ガ浜開谷線の変更（ルート・形式等）

- 鎌倉街道（雪ノ下大船線）で、沿道建物のセットバック、都市計画道路の幅員の見直しなどにより高齢者や障害者にも歩きやすい道づくり、歩道づくりを推進
- 高齢者や障害者など誰もが便利に安心して移動できるバスサービスの充実

- 石畳、ハンブ、カラー舗装などによる車のスピード制限
- 瓜ヶ谷道路の緑豊かな道づくりの推進

- 幅員の狭い道路の整備手法の地域内ルールの検討
- 幅員の狭い道路の整備
- 路地のある環境やまち並みの保全

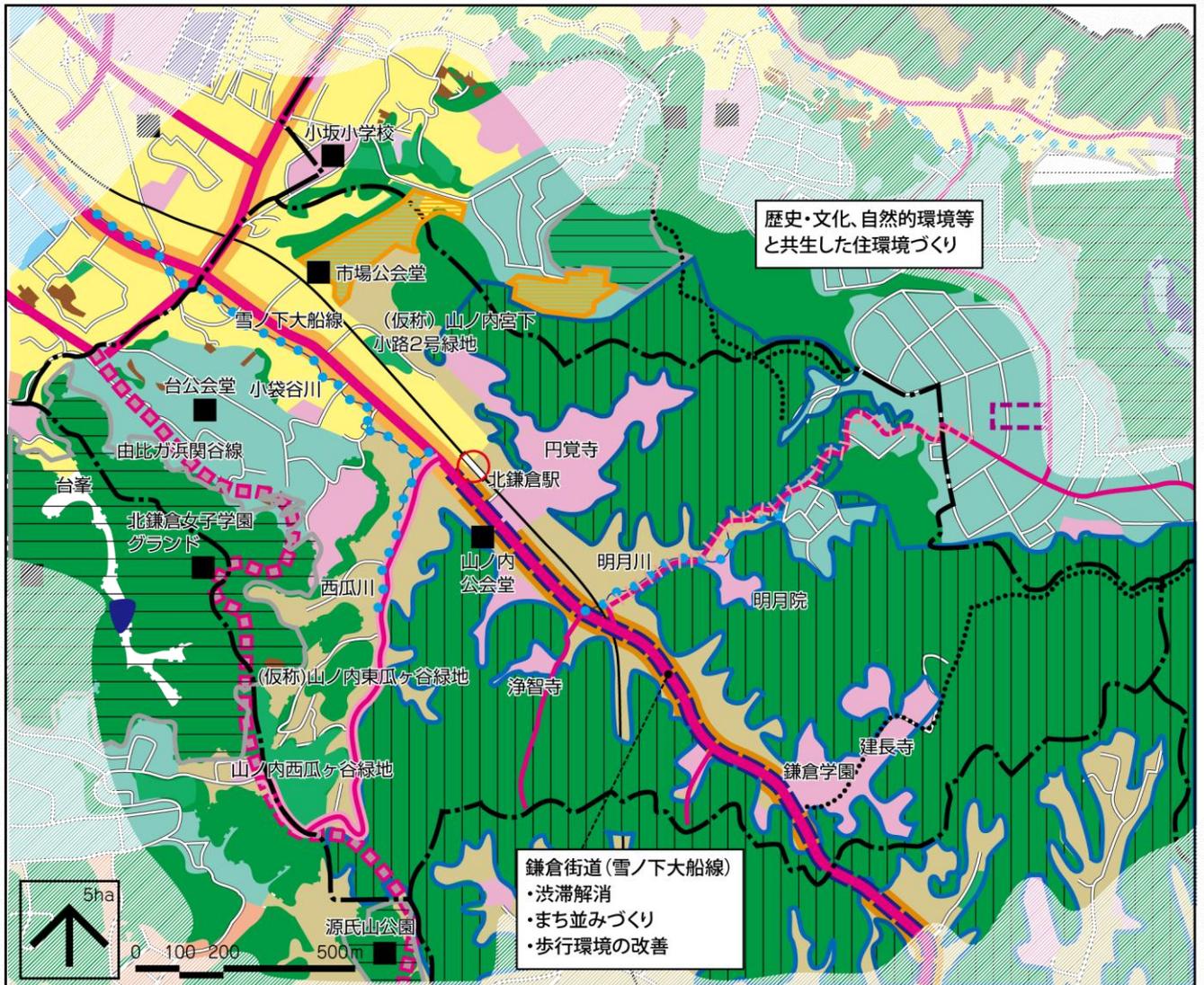
ソフト面の取り組み

- ・案内システムの整備（平常時には観光案内、災害時には避難情報を提供）
- ・歩く道のPR（六国見山のハイキングコースなど北側の観光資源）

検討課題

- ・北鎌倉駅周辺の歩行者（学生、観光客等）の混雑への対応（分散方法の検討等）
- ・横須賀線（明月院踏切～小袋踏切）の地下化とそれに伴う上部空間土地利用の検討

図 地域別方針……北鎌倉地域



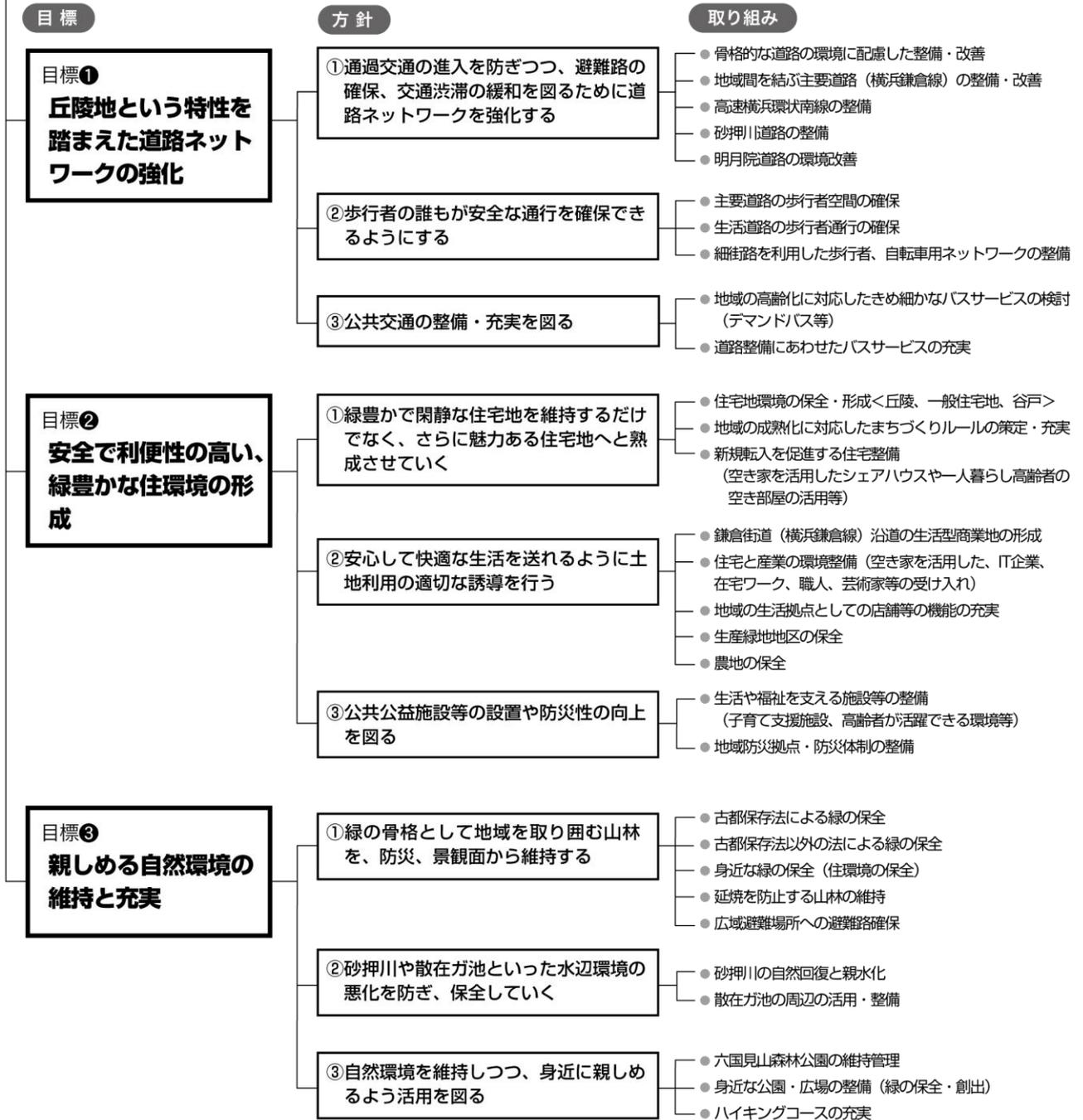
- | | | |
|-------------------|----------------|---------------------|
| 古都保存法の緑 | 谷戸の住宅地 | 地域間を結ぶ主要道路 |
| 緑地 | 一般住宅地 | 由比ガ浜関谷線の変更(ルート・形式等) |
| 自然的公園の緑 | 計画開発住宅地(丘陵住宅地) | 生活道路 |
| 都市公園等の緑 | 生活型商業地 | 瓜ヶ谷道路 |
| 生産緑地地区 | 観光型住商複合地 | 明月院道路 |
| 河川(小袋谷川、明月川、西瓜川等) | 公共公益施設等 | ハイキングコース |
| | 地区計画 | 地域交通拠点(北鎌倉駅) |
| | 沿道のまち並み形成 | |
| | 地域の防災やコミュニティ拠点 | |

9 大船丘陵地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 緑に囲まれ水に恵まれた良好な住環境を維持発展させ、若い世代の流入促進を図る。
- 地域の高齢化に対応した環境づくり、公共交通の充実を図る。
- 地域に関わる様々な主体が担い手となって、地域における価値や魅力を向上させる取り組み（エリアマネジメント）を推進する。



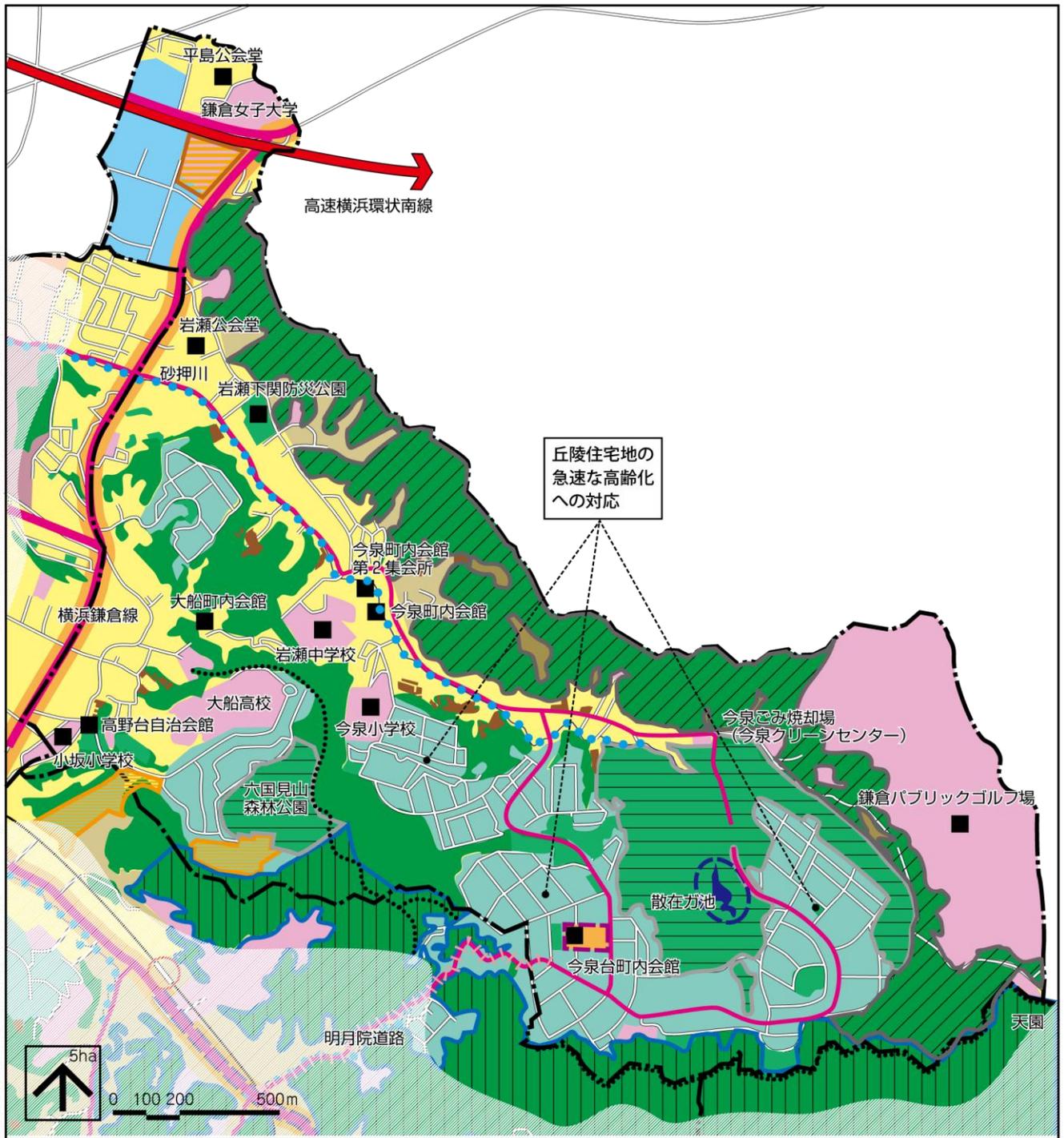
ソフト面の取り組み

- ・地域の課題を解決するエリアマネジメントの仕組み、体制づくり
- ・新規転入者を受け入れるための地域コミュニティの形成
- ・高齢者の市街地中心部等への円滑な住み替え支援

検討課題

- ・災害時などに他地域からの支援を得られる環境・体制の検討

図 地域別方針……大船丘陵地域



- | | | | | | |
|--|-----------------------|--|--------------------|--|-----------------------|
| | 古都保存法の緑 | | 谷戸の住宅地 | | 骨格的な道路 (高速横浜環状南線) |
| | 古都保存法以外の法の緑 | | 一般住宅地 | | 地域間を結ぶ主要道路 (横浜鎌倉線) |
| | 緑地 | | 計画開発住宅地 (丘陵住宅地) | | 生活道路 (砂押川道路等) |
| | 自然的公園としての緑 (六国見山等) | | 生活型商業地 | | 明月院道路 |
| | 都市公園等の緑 | | 産業複合地 | | ハイキングコース |
| | 生産緑地地区 | | 公共公益施設等 | | |
| | 農地 | | 地区計画 | | |
| | 河川(砂押川) | | 地域生活拠点 | | |
| | 散在ガ池周辺 | | 地域の防災やコミュニティ拠点 | | |

10 大船市街地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 新しい鎌倉の拠点として、拠点機能の強化を図る（商業・業務、産業、文化、教育、住宅、子育て支援・高齢者支援等）。
- 交通結節点である駅を中心とした、一体的なまちづくり（駅周辺整備と周辺地区の特性をいかしたまちづくりの連携）。

目標

目標①

**まちの発展を支える
道路や公共交通機関
の充実**

目標②

**エリアマネジメント※
による魅力とにぎわ
いのあるまちづくり**

※エリアマネジメントとは、地域に関わる様々な主体が担い手となって、地域における価値や魅力を向上させる取り組みのこと。

目標③

**安全で快適な市街地
整備と都市環境の整
備**

方針

①大船駅周辺の道路の交通容量を増やし、東海道本線・横須賀線・柏尾川で分断された道路網を強化する

②楽しく歩ける歩行者・自転車のネットワークを形成する

③公共交通の利便性を向上させる

①市民生活と強く結びついた商工業の活性化を図る

②芸術文化・教育機能の育成を図る

③住工や住商の混在地は、秩序ある土地利用の誘導を図る

④職住近接の実現による人口の誘導と定住化を図る

①近接市区も含めた広域的な拠点として大船駅周辺の整備を進める

②安全で快適な生活のための整備を進める

③人にやさしい福祉のまちづくりを進める

取り組み

- 腰越大船線の整備促進
- 広域幹線となる横浜鎌倉線（一部未整備）、由比ガ浜関谷線（小袋谷～山崎）、原宿六浦線の整備・改良
- 鎌倉街道（雪ノ下大船線）の整備・改良
- 小袋谷藤沢線、田園踏切道の歩道整備
- 大船停車場谷戸前線の整備・改良
- 由比ガ浜関谷線の変更（ルート・形式等）
- 玉縄地域と結ぶ新規の道路を横浜市と連携しながら検討

- 歩道の拡幅、段差の解消、電線の地中化など生活道路の環境改善
- 大船駅、芸術館間を都市軸とした歩行者空間の整備（松竹通り、芸術館通りなど）
- 砂押川、梅田川、柏尾川などの川沿いのプロムナード整備
- 仲通りの魅力の演出
- 歩行者用道しるべの設置
- 駐輪場の確保など、自転車利用環境の向上

- 深夜バスやミニバスなどのバスサービスの充実
- バスルートの再編の検討（道路整備との連携等）

- 大船駅前には公共公益施設、住宅、交流型商業拠点として整備（大船駅東口再開発事業の推進）
- 大船駅周辺は回遊性・仲通りとの一体性を高めた魅力的な商業環境や産業環境（ビジネス集積等）を創出
- 仲通り商店街は従来の雰囲気を受け継いだ整備・活性化
- 工場周辺の緑化の推進、企業施設の地域開放
- 商工業を支える道路交差環境の整備
- 商業イベントのためのオープンスペースの確保

- 大学と地域が連携したまちづくりの推進
- 芸術や企業文化などの発信・育成
- 交流機能などの立地誘導

- 密集市街地の計画的改善
- 住宅と工業の環境整備
- 高度な産業機能の育成
- 生活型商業地の育成・支援

- 都市型住宅地の形成（コミュニティ施設の併設等）
- 戸建住宅地における住環境の保全
- 一般住宅地における基盤整備を伴う住環境の改善

- 大船観音～大船駅～芸術館を都市軸として整備
- 駅前広場（東口・西口・北口）の整備、新設
- 駅周辺における公的施設（社会教育施設など）の導入を視野に入れた、複合開発の誘導
- 駐車場の整備誘導
- 駐輪場の整備や駐車場案内システムの設置

- 河川の自然回復と環境保全、親水化
- 身近な緑の保全・創出
- 身近な公園・広場・ポケットパーク等の整備
- 地域の防災拠点・防災体制の整備

- 大船駅及び周辺でのバリアフリー化の推進
- 交通弱者に安全な道路づくり、道しるべ計画

ソフト面の取り組み

- ・地域の課題を解決するエリアマネジメントの仕組み、体制づくり
- ・古都鎌倉と新しい鎌倉の相互連携
- ・横浜市との連携

検討課題

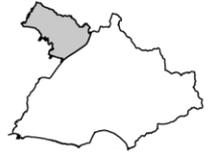
- ・産業系土地利用の継続及び大規模土地利用の転換に関する具体的なルールづくり（条例の強化等）
- ・横須賀線（明月院踏切～小袋谷踏切）の地下化とそれに伴う上部空間土地利用の検討

図 地域別方針……大船市街地域



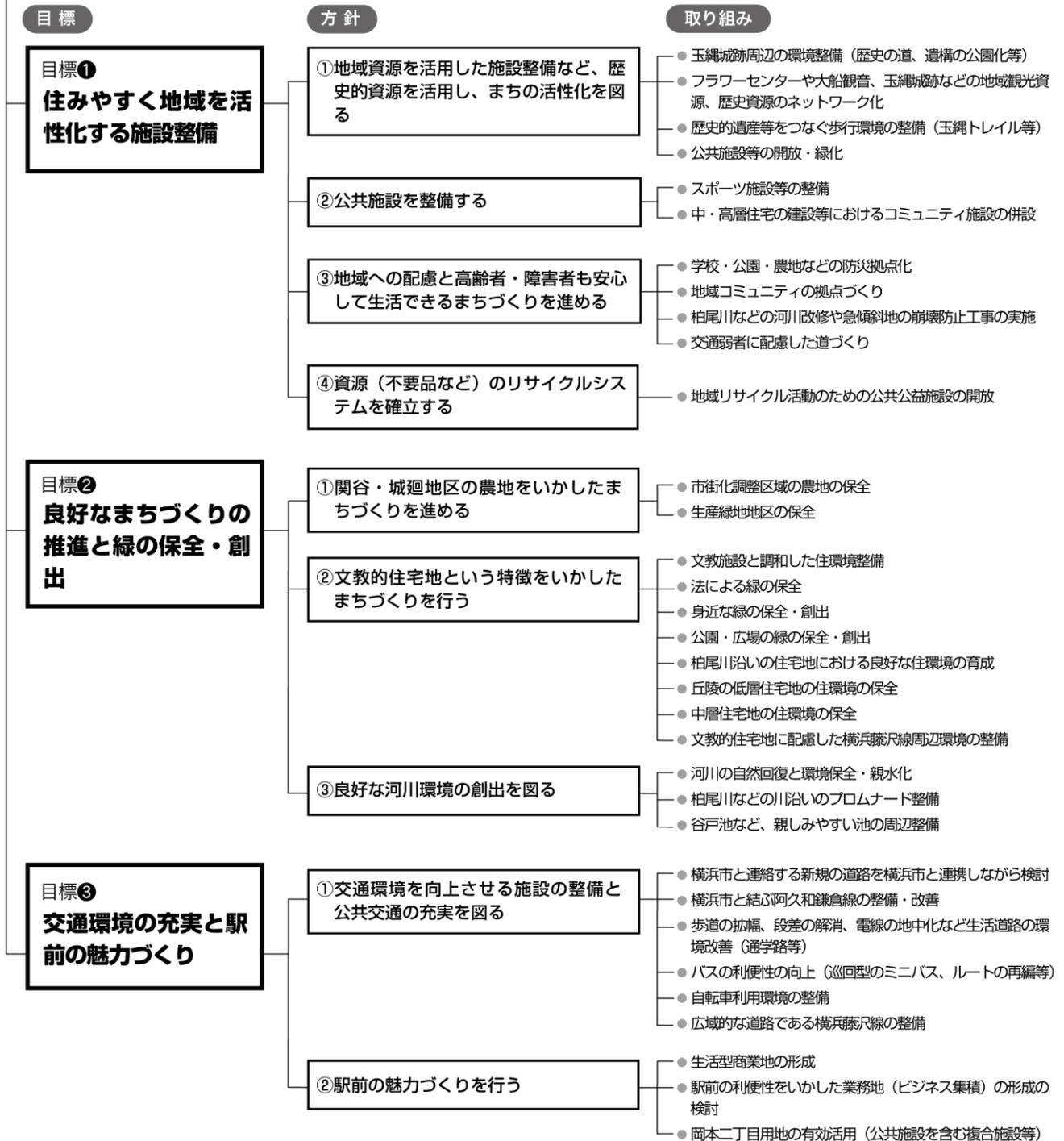
- | | | | |
|-------------|-----------------|----------------|----------------------|
| 古都保存法以外の法の緑 | 一般住宅地 | 産業地 | 地域間を結ぶ主要道路 |
| 緑地 | 計画開発住宅地 (丘陵住宅地) | 産業複合地 | 由比ガ浜関谷線の変更 (ルート・形式等) |
| 都市公園等の緑 | 都市型住宅地 | 公共公益施設等 | 生活道路 |
| 生産緑地地区 | 中・高層住宅地 | 地区計画 (再開発) | 地域交通拠点 |
| 河川 (砂押川等) | 大船駅前商業地 | 地区計画 | 大船駅周辺拠点の整備 |
| | 駅周辺商店街 | 地域の防災やコミュニティ拠点 | |
| | 生活型商業地 | | |

11 玉縄地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 歴史資源、田園、文教施設など玉縄ならではの地域特性をいかしたまちづくり。
- 近年のまちの変化を踏まえた、地域コミュニティの醸成につながるまちづくり（新旧住民の交流等）。



ソフト面の取り組み

- ・玉縄地域の歴史文化の情報発信
- ・ブランド化された「鎌倉やさい」の販売促進、観光農園、流通等の新たな農業体制づくり
- ・緑地（民有地）の新たな管理モデルの検討（住民参加の方法等）
- ・隣接地との連携（医療サービス等）

検討課題

- ・産業系土地利用の継続及び大規模土地利用の転換に関する具体的なルールづくり（条例の強化等）
- ・文化・芸術を中心とした都市空間の形成（クリエイティブ・シティ）の検討（歴史・文化施設の整備、大学誘致等）

図 地域別方針……玉縄地域

